

令和8年度 63回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅰ 〈急性期援助論〉	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和 8 年 10 月	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ <u>急性期援助論</u> : 10 時間 ・ 回復期・慢性期援助論 : 12 時間 ・ 終末期援助論 : 8 時間
担当講師名	古舘 勇一	所属/役職	県立宮古病院 主任看護師
		資格・免許	救急看護認定看護師
授業の概要	急性期にある対象と家族の看護について学ぶ。		
到達目標	1. 急性期にある患者と家族の特徴について理解できる 2. 急性期における看護の基本について理解できる 3. 救急看護・クリティカルケアの基本について理解できる 4. 基本的な救命救急処置の方法を理解し、模擬的に実践できる		
事前学習内容	テキストの該当部分を読んで予習する		
成績評価の方法	筆記試験 100 点 ※上記 3 単元の平均点が科目の成績評価となるが、各単元で 6 割に満たない場合は再試験に該当する。		
使用テキスト	(1) 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院 学生用：【電子版】第 2 版 version4、講師用：第 2 版第 7 刷 (2) 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 学生用：【電子版】第 19 版 version2、講師用：第 19 版第 2 刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	救急医療の体制 急性期にある患者と家族の特徴（身体的・心理的・社会的特徴） 急性期における看護の基本 ① ・ 危機的状況への支援/治療選択・意思決定への支援		講義
第 2 回	急性期における看護の基本 ② ・ 治療の緊急度と優先度/意識レベル、神経学的所見、全身状態 ・ バイタルサイン/ショックへの対応		
第 3 回	救急看護・クリティカルケアを必要とする患者の看護 ・ 外傷（頭部外傷、止血法*テキスト(2)）・熱傷・中毒の応急処置 ・ 熱中症・低体温症への応急処置/感染症への対応		
第 4・5 回	救命救急処置 ・ 緊急時の応援要請 ・ 一時救命処置（Basic Life Support：BLS）		演習
11/9 予定	終講試験		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		